



れんげ畑

鴻巣市立鴻巣中央小学校
平成31年4月号

学校教育目標
キャッチフレーズ
ホームページ

【知】友と学ぶ子 【徳】心の豊かな子 【体】体をきたえる子
「はきはき・にこにこ・きびきび」
kochuo-e.konosu.ed.jp

児童数376人

新年度のスタート

校長 清水 励

平成31年度がスタートしました。5月には改元され「令和」となります。4月1日、テレビで初めて「令和」と聞いた時には、「平成」への愛着が強かったせいか、若干の違和感を覚えました。新元号「令和」は、聞き慣れてくると音としてもきれいに感じ、また、元となった万葉集の歌の情景を知ると、さらに美しくとてもいい元号に思えてきました。新たな気持ちにさせてくれる元号という日本独自の文化は、やはりいいものだと思えました。

さて、本校も新教職員を迎え入れ、新体制でスタートしました。年度初めは会議等が多くあるのですが、その合間には職員の明るく元気な笑い声と楽しく会話する声が職員室にあふれています。子供たちの「笑顔あふれる学校」には、やはり教職員の笑顔もあふれていることが大切だと、とても嬉しく思っています。

今年度は、新一年生として59名を迎え、全校児童376名でスタートします。教職員一同力を合わせ、すべての子供たちのより良き成長を願って、学校教育目標の具現化を目指し一生懸命に取り組んでまいります。保護者・地域の皆様には、昨年同様変わらぬ御支援と御協力をいただきますよう、よろしくお願いいたします。

学校教育目標		
○友と学ぶ子	○心の豊かな子	○体をきたえる子
学校経営方針		
1 確かな学力「知」、豊かな人間性「徳」、健康・体力「体」の調和のとれた児童の育成		
2 一人一人の児童を伸ばす情熱と向上心をもった教職員による協働の学校運営		
3 保護者・地域から信頼され、学校・家庭・地域が一体となった教育の推進		
開校以来の教育姿勢		
○親切な指導	○誠実な対応	
○綾織りの報連相	○鉄壁のカバーリング	
目指す学校像		
三感（充実感・存在感・所属感）あふれる学校		
— 今日が楽しく、明日が待たれる学校づくり —		
（学年・学級経営で、職員間で）		

55 インチモニタ（2台）を御寄付いただきました

3月25日（月）に、天神の㈱直徳 岩上様より、55インチモニタ（2台）とスタンド（2台）の御寄付をいただきました。これは、埼玉りそな銀行「寄贈品付き私募債」によるもので、岩上様の御厚意と埼玉りそな銀行様の計らいにより実現したものです。

これまで英語ルームにモニタは無く、教室より移動して使っていたのですが、これからはより大きな画面で授業を行うことができます。今後、授業での活用はもちろんのこと、各行事や会議で有効に活用させていただきます。誠にありがとうございました。



本校
清水

㈱直徳
岩上様

埼玉りそな銀行
久保様